

豊実まちづくり計画

🌱 緑豊かで魅力ある住みよいまち豊実 🌱

!! 地域の芽
育てよう !!



豊実まちづくり協議会

平成23年3月

目 次

はじめに	1
1. 豊実地区の現状と課題	2
人口世帯の特徴	2
実り豊かな田園風景	2
古墳群や獅子舞・傘踊りなどの歴史	2
安全・防災・防犯	2
健康・福祉	3
生涯学習・人権	3
環境・美化	3
2. 豊実まちづくり協議会組織図	4
3. 豊実まちづくりの目標	4
4. 豊実まちづくり計画	5
基本目標①【総務・広報】	5
基本目標②【安全・防災・防犯】	6
基本目標③【健康・福祉】	7
基本目標④【生涯学習・人権】	8
基本目標⑤【環境・美化】	9
あとがき	10

はじめに

豊実地区まちづくり計画は、豊実地区7つの集落を対象に、各区長をはじめとする各種団体役員延べ70名により、平成20年12月20日に「豊実まちづくり協議会」を発足し、その目的に従って、度重なる会議・研修を経て策定されました。豊実地区の良さを見直すとともに、地域が抱える課題・問題を整理し、それらの解決策を盛り込んだ本計画は、“緑豊かで魅力ある住みよいまち豊実”の願いが込められています。

豊実地区の住民一人ひとりが、本計画に基づき自ら行動することが“緑豊かで魅力ある住みよいまち豊実”の実現につながるものです。そのためには、一人でも多くの方が本計画の内容や趣旨を理解し、自ら地域づくりに加わり協働の輪を広げていただきたいと願っています。



〔国体道路より豊実の郷を遠望〕

1. 豊実地区の現状と課題

●人口世帯の特徴

平成 22 年 6 月 30 日現在の豊実地区の人口は
1,086 人

年少人口（0～14才）は83人（7.6%）

高齢者人口（65才以上）は345人（31.7%）

世帯数は381世帯となっています。

少子高齢化が進み、特に子どもが少ないことは豊
実の将来にとって大きな問題となっています。



〔野坂獅子舞〕

●美り豊かな田園風景

千代川水系野坂川中流域に立見の山と、大塚・野坂・大桝の山に囲まれた美しい農地が
広がる田園風景が豊実の自然景観を形成しています。

優良農地として指定されている農地では米を中心に露地野菜（ブロッコリー・なす・きゅ
うり・トマト・イチゴ・ほうれんそう）などが栽培されていますが、専業率は低く兼業農
家が多くなっています。

後継者の減少により、近年休耕田や耕作放棄地が発生し、景観が損なわれています。

農地を守ることは重要課題であり、この対策として他地域との交流を図るグリーンツー
リズム（農業体験）やクラインガルテン（貸農園）などに、取り組んでいくことも必要です。

●古墳群や獅子舞・傘踊りなどの歴史

豊実周辺の山には、古墳群が 101 個存在しています。なかでも桝間には山陰地方でも最
大級の前方後円墳など、歴史的貴重な遺産が多くあります。

また、野坂の麒麟獅子舞、宮谷・野坂の傘踊りなどの伝統芸能も受け継がれています。

なかには、嶋の人形芝居のように後継者がいなくなり、人形は鳥取市に寄託されている
状態のものもあります。

●安全・防災・防犯

豊実地区では、大きな事件はほとんどないものの、平日昼間は高齢者のみの世帯が多いた
め、高齢者をターゲットにした「振り込め詐欺」など目に見えない犯罪被害の心配があり
ます。

また、通学時の子どもの見守り活動は「世紀小学校区学校安全委員会ボランティア」が
中心となっていますが、ボランティアの確保が難しくなっています。

防災面では、野坂川を挟んで両側の山に囲まれた地形で、河川・山地などに危険区域が
多くあり、年次的に改修されてはいますが、未だ多くの危険箇所が存在しています。

●健康・福祉

自治会・体育会・健康づくり推進委員会や各団体が行う運動会・各種スポーツ大会・ウォーキング大会・健康講演会・料理教室などを開催して健康増進に努めていますが、高齢者も参加できる催しも必要です。また病気予防対策として行っている集団検診の受診率を高めることも今後の課題となっています。

社会福祉協議会等が中心となり月1回、高齢者世帯への食事サービスを行っています。

子どもたちには、週末のキッズクラブ活動や、長期休暇期間に育成会や公民館が主催して30年近く続いているキャンプ大会（夏の集い）、また世代間交流を兼ねた様々な活動（冬の集い）を行っています。近年参加人数は減っています。

●生涯学習・人権

豊実の伝統文化や文化財をテーマに、有識者を招いての講演会、現地体験など公民館を中心に生涯にわたる学習をしています。

地区民が広く利用し交流できる「多目的交流施設」の整備も進めています。

人権問題については、出前勉強会を行うなど、現在も取り組んでいるところです。

今後、これらの参加者をいかに増やしていくかが課題となっています。

●環境・美化

野坂川は、雑草や雑木が繁り川面も見えない状況になっています。

昔のように鮎や鮭が遡上する清流野坂川に戻したいと願っています。

豊実グラウンドは、住民の憩いの場であり、豊実保育園の園児の遊び場としても活用されています。ころんでも怪我が少なく、炎天下の気温上昇をおさえる「鳥取方式」豊実グラウンドの芝生化の整備を進めています。

また、現在老人クラブ等が中心となって行っている『花いっぱい運動』を拡大し、心癒される美しい豊実にしていけたらと願っています。



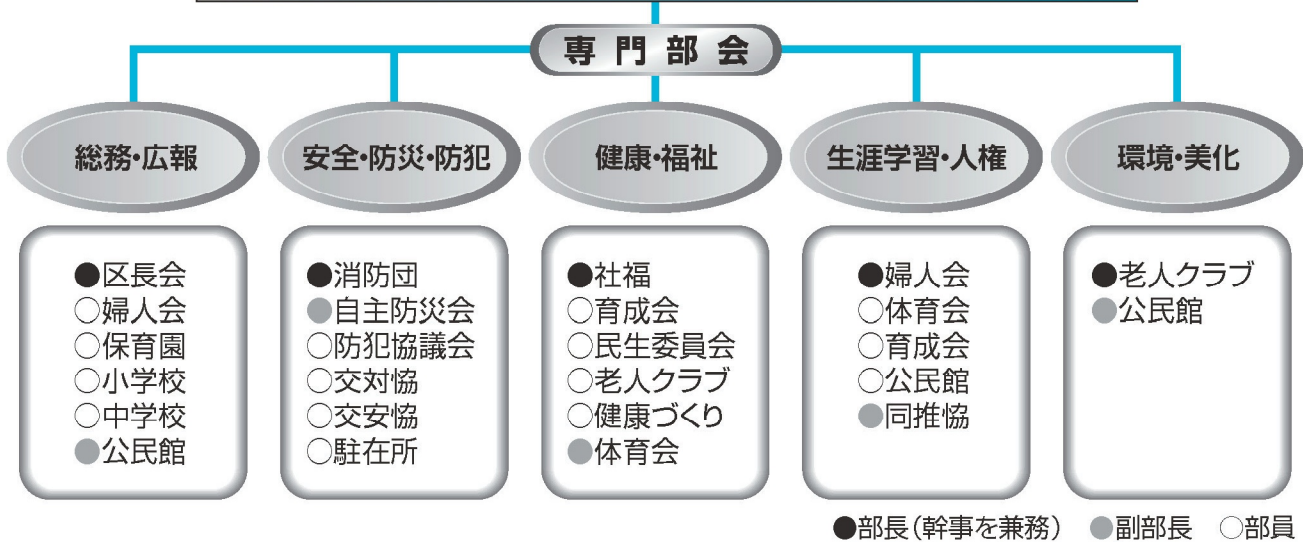
〔豊実グラウンド横の土手の桜〕

豊実まちづくり協議会組織図

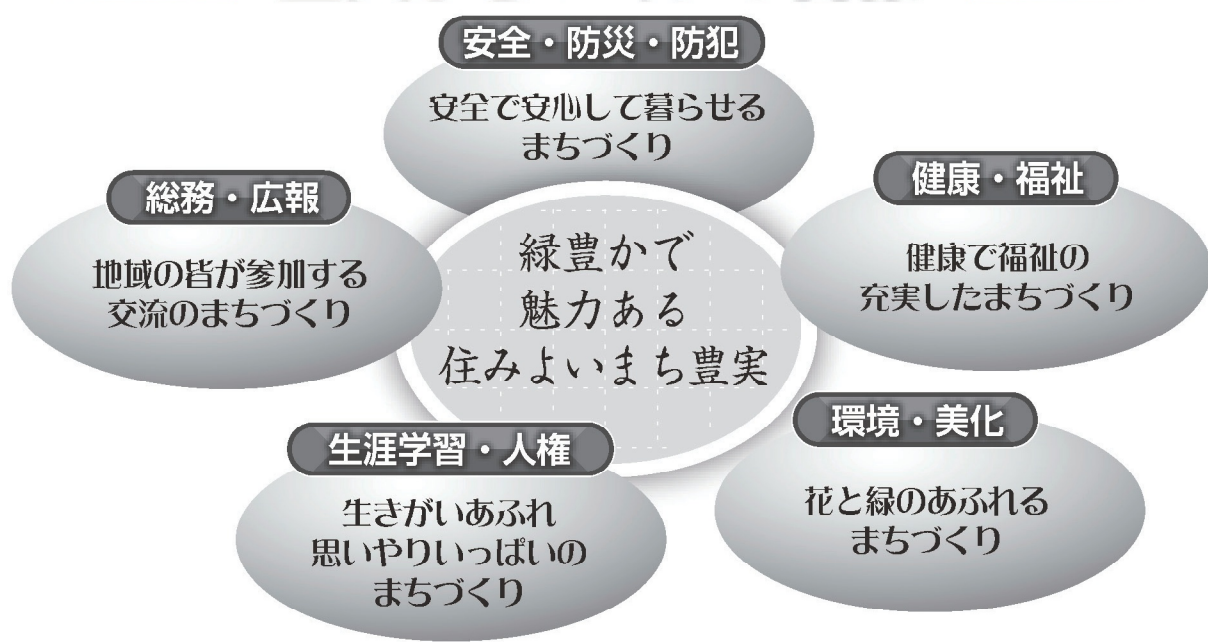
豊実まちづくり協議会

《役員》

会 長……自治会長
 副会長……区長会長・婦人会長・公民館長
 幹 事……区長会副会長・消防団長・社福会長・婦人会副会長・
 老人クラブ会長
 書 記……公民館職員
 会 計……公民館職員
 監 事……各種団体監事



豊実まちづくりの目標



2. 豊実まちづくり計画

◇基本目標1【総務・広報】

「地域の皆が参加する交流のまちづくり」

地域の皆が自分にできる行事に参加し、相互理解を深め、誰もが顔見知りで親しみある豊実をめざします。

目標①・・・にぎわいのあるまちづくり

計 画	短期	一人でも多く参加できるイベントを各部で計画し、多くの住民に参加してもらうことで、にぎわいのあるまちづくりを進めます。
	中期	にぎわいを続けていくために、将来の活動を担える人材を育成します。
	長期	住民相互の交流を深めて、住んでいて良かったと思える魅力ある豊実にしていきます。

目標②・・・一体感のあるまちづくり

地域内外への情報発信を行うことにより、協議会活動を周知するとともに情報の共有をはかり相互理解を深めます。

計 画	短期	協議会だよりを発行し、地域情報や協議会活動を住民に広く周知し、協議会活動への関心を深めます。
	中期	ホームページの充実を図り、地域内外へ情報発信をします。豊実出身者へ協議会だよりを送付し、ふるさとの魅力を再認識してもらい、Uターン者の確保へつなげます。
	長期	皆が地域のことをよく知って、誰もが顔見知りで一体になれる地域づくりをします。

目標③・・・住みやすい居住地の提供と住民交流

新たな居住者を誘致し、活力あるまちづくりを進めます。

計 画	短期	地域内の空き地・空き家を把握し、新たな居住者を受け入れる環境を整えるとともに、情報を発信することで受入れをアピールします。
	中長期	新たな居住者との交流を深め、地域の一員として地域自治の担い手になるようバックアップ体制を整えます。



〔世代間交流（冬の集い）〕

◇基本目標２【安全・防災・防犯】

「安全で安心して暮らせるまちづくり」

子どもから高齢者まで、誰もが安全で安心して生活できる、住みやすいまちづくりを進めます。

目標①・・・高齢者の安全確保

高齢者やその家族が安心して生活できるように、地域ぐるみで高齢者の見守り活動を行います。

計 画	短期	昼間一人になる高齢者の安全対策を検討し、地域全体で取り組みます。
	中期	散歩・ジョギング・ウォーキングなど日常活動が安心して行えるよう対策を検討し、実施していきます。
	長期	安否の確認ができる体制を確立していきます。

目標②・・・安全な通学路の確保

子どもたちの安全な通学路の確保と通学の見守り活動を地域で行い、安心して通学できるようにします。また、子どもと地域の交流を深め、顔見知りの関係になることで、子どもに安心感を与えるようにします。

計 画	短期	学校安全ボランティア・老人クラブ等との連携を図り、見守り活動を推進します。
	中期	あいさつ運動を展開し、地域住民同士の交流を深め、顔見知りの関係づくりを進めます。
	長期	危険な箇所に防犯灯を設置し、明るく安全で安心な通学路を確保します。

目標③・・・災害に強いまちづくり

防災訓練を実施するなど、地区消防団、地域住民との連携と協調を図り災害に強い地域にしていきます。

計 画	短期	地区消防団と協力をして防災訓練を充実し、有事の際の行動がスムーズにできるようにしていきます。
	中期	防災マニュアルを作成し、地域内で連携が図れるシステムづくりを進めます。
	長期	防災マップ（集落・地区全域）を作成します。

目標④・・・交通事故のないまちづくり

計 画	短期	高齢者や子どもなどを交通事故から守り、安全対策の強化と意識の高揚に努めます。
	中期	交通安全教室を行い安全意識の高揚を図ります。
	長期	事故多発地点（危険箇所）のマップをつくり、事故発生件数の減少に努めます。

◇基本目標3【健康・福祉】

「健康で福祉の充実したまちづくり」

誰もが、健康で福祉の充実した住みよいまちづくりを進めます。

目標①・・・子育ての拠点づくり

地域活動を通して地域住民のふれあいや信頼関係を育み、地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます。

計 画	短期	育成会事業（夏・冬の集い）や公民館キッズクラブの活動の充実、子どもたちの地域参加を進めます。
	中期	保育園等と連携を図りながら、子育てサークルなどによる子育ての悩みなどを共有できる環境を整えます。
	長期	子育てをする親子と地域住民との交流を深め、子育て環境の向上を図ります。

目標②・・・高齢者の交流の場づくり

高齢者の集いの場を提供し、心身ともに健康でいきいきと生活できる環境整備を行います。

計 画	短期	高齢者が活動できる場をつくります。
	中期	高齢者の集いの場をつくるため、各集落でいきいきサロンの開設を進めます。
	長期	昔ながらの伝統行事を復活させ、高齢者の集いの場をつくります。

目標③・・・福祉の充実

高齢者や障がいのある方への住みよい環境を整えていきます。

計 画	短期	食事サービスの充実を図ります。
	中期	障がいのある方や一人暮らしの方の、見守り体制を整えていきます。
	長期	一人暮らし高齢者への買い物・送迎サービス等を検討します。

目標④・・・住民の健康増進・維持

スポーツ活動等を通して、住民相互の交流を図ると共に、健康増進と維持を図ります。

計 画	短期	住民だれもが楽しく集えるスポーツ大会の充実を図ります。
	中期	健康で長生きするため、集団健診の受診率を高め自己管理の向上につなげます。
	長期	健康維持のために一人1スポーツを提唱します。

◇基本目標 4【生涯学習・人権】

「生きがいあふれ、思いやりいっぱいのもちづくり」

生涯にわたって学習していくことで、心の通った気持ちよい人間関係を構築します。

目標①・・・生涯にわたって人間関係を築きながら伝統文化を学ぶ

世代間交流を通して豊実の伝統文化を学び、豊実に誇りが持てるようにします。

計 画	短期	伝統的な文化活動を通して世代間の交流を行い、人間関係のつながりを強めます。世代間交流事業・花いっぱい運動作業場・グラウンド使用者の休憩室など、多目的に利用できる施設を整備します。
	中期	異世代の発想やその意外性を体験し、相互の理解と可能性を見出していきます。
	長期	異世代間で助け合い、協力していくことで、新たな人間関係を築き、異なった文化を学んでいきます。

目標②・・・愛着の持てるふるさとづくり

ふるさとの良さを再確認し、地域に対する関心や愛着を深めていきます。

計 画	短期	豊実の自然（地質・地形・景観）を再認識し、地域への関心を高めます。
	中期	豊実の歴史文化を認識し、伝統を継承していけるようにします。
	長期	郷土の歴史・自然に誇りと愛着の持てる豊実にします。

目標③・・・人権意識の向上

ふるさとの良さを再確認し、地域に対する関心や愛着を深めていきます。

計 画	短期	小地域座談会への参加を呼びかけ、参加者の輪を広げます。
	中期	小地域座談会終了後、全体会を開催し、意見交換と今後の展望を協議し、理解を深めていきます。
	長期	お互いを理解し分かち合い認め合う心を身につけ、いかなる差別もなくしていきます。



〔小地域座談会〕

◇基本目標 5【環境・美化】

「花と緑のあふれるまちづくり」

豊実地区の自然環境の魅力を再認識し、郷土愛を育みます。

さらに、この魅力あふれる自然環境を次世代に伝えていきます。

目標①・・・豊かな環境を守る

壊されつつある環境を回復し、豊かな環境を取り戻します。

計 画	短期	豊実グラウンドの芝生化を推進します。
	中期	生活用水・農業用水の元となる野坂川を地域全体で守ります。
	長期	豊実環境マップづくりを検討します。

目標②・・・魅力ある環境を作る

計 画	短期	地域内のバス停・親水護岸を花でいっぱいにし、癒しの空間を創ります。
	中期	散策経路沿いに四季の花を植栽し、訪れる方を出迎え楽しませます。
	長期	休耕田を活用し、れんげ・コスモス・菜の花畑を拡張、安らぎの空間を創ります。

目標③・・・美しい農業集落と豊かな食文化をあわせもつまちづくり

魅力あふれる農業環境を保全することにより、豊かな食材を作り

それらを食べて健康増進を図ります。

計 画	短期	優良農地を活かした農業を推進します。
	中期	優良農地で作った農作物を活かし、豊かな食育を推進します。
	長期	休耕田や荒廃農地をなくすため、市民農園（貸農園）を造ります。



あしがき

豊実まちづくり協議会を発足させて、『まちづくり計画』をつくるにあたり、最初の1年は各専門部会で、それぞれに課題の拾い出しを行って全体討議に諮り、課題を詰めていきました。先進地視察を行って、その取組みを参考にし課題を精選していきました。この2年は、豊実グラウンドの「鳥取方式」芝生化事業と多目的交流施設の建設事業に時間を取られて、計画づくりが遅れてきました。こうしたなかで、多くの委員の皆さんとコミュニティ支援チーム（市職員）、および公民館職員の献身的な協力によって、まちづくりの基本方向を示す『豊実まちづくり計画』が完成しました。

今後は、この基本目標に沿って、地区の皆さんの意向を汲みながら具体的な行事や実施事項を、短期・中期・後期にわたって組み立てて実行していくことによって、目的とする『緑豊かで魅力ある住みよいまちづくり』を、地区のみなで協力してひとつ一つ実現していきましょう。

豊実地区のみなさんの、建設的なよりよい提案と献身的なご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

豊実まちづくり協議会 会長 大西 隆秀

思いは深く、望みは高くと欲張り、地区を愛する気持ちをこめ将来に向かって「豊実まちづくり計画」が出来あがりました。この計画が進む方向付けとなり、計画の実践、実施を進めるなかで、絶えず振り返り見直すべきは見直し、改めるべきは改め絶えず先へ先へと進み、豊実の郷が実り多いまちづくりの花が咲くことを願って「豊実まちづくり計画」が皆さんの実践力によって動く事を切にお願いいたします。

豊実地区公民館 荒木 俊近



豊実まちづくり協議会（豊実地区公民館内）

代表者 **大西 隆秀**

〒680-1413 鳥取市野坂950

TEL(0857)**24-0604**

FAX(0857)**24-0622**

HPアドレス <http://www.toyomi.info/>